



武蔵野

学校だより NO. 10
平成30年 1月号
昭島市立武蔵野小学校
校長 岡部 操

新年 おめでとうございます —「いろはカルタ」の教え—

校長 岡部 操

平成30年の新年を迎え、武蔵野小学校の3学期がスタートしました。今年の冬休みは厳しい寒さが続きましたが、各家庭におかれましては、いかがお過ごしだったでしょうか。校庭の木々を観ると枝先には新芽が膨らみ、植物からは生命の息吹を感じることができます。新年ということもあり気持ちが引き締まる思いにさせてくれます。

さて、私が小学生の頃、お正月になると親戚が集まり、従兄弟同士でいろいろな遊びをしました。私はコマが得意でしたが、みんなで遊べたということではカルタ取りが楽しかったのを覚えています。

カルタはポルトガルから日本に入ってきたもので、江戸時代に盛んになってきました。今でもお正月近くになると売り出されるのが「いろはカルタ」です。この「いろはカルタ」には多くのことわざがあります。ことわざとは、民衆の生活の中から生まれた教訓的な言葉です。ですから、私たちの生活に今でも生きていけると言えます。

ここで上方（大阪・京都）カルタと江戸（東京）カルタの語句をいくつかあげてみます。

- い：一寸先は闇（上方）
犬も歩けば棒に当たる（江戸）
- ほ：仏の顔も三度（上方）
骨折り損のくたびれもうけ（江戸）
- わ：笑う門には福来たる（上方）
割れ鍋に綴じ蓋（江戸）
- や：闇に鉄砲（上方）
安物買いの銭失い（江戸）



どれも生活していく中での教えで、現代の社会でも通用すると思います。ことわざは、私たちの祖先が長い間に経験したことから出てくる、励ましや戒めの言葉なのです。祖先からの贈り物といってよいでしょう。この「いろはカルタ」の教えを社会生活においても大切にしていきたいものです。

義務教育では、各個人の能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的としています。

本校児童がこの目的に向けて個々のよさを発揮し、成長するよう職員一同努力してまいります。本年も、保護者・地域の皆様の教育活動へのご理解ご協力をお願いいたします。